



G空間関連 令和9年度概算要求の概要等

【単位:百万円】

金額は関連予算含む。十百万円の位(小数点第一位)を四捨五入。
施策単位で額を確認できるものについてのみ集計。内数は集計外。

省庁名	令和7年度補正+令和8年度当初			令和9年度 概算要求額	主 な 施 策
		令和7年度 補正予算額	令和8年度 当初予算額		
内閣官房・内閣府 (警察庁・デジタル庁 含む)	37,235	18,900	18,335	89,634 ※別途事項要求中の 施策あり	・実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進 ・小型SAR衛星コンステレーションの利用拡大に向けた政府調達支援 ・新総合防災情報システムの整備と運用 ・海洋状況把握(MDA)及び情報の利活用の推進 ・海洋無人機(海洋ドローン)の社会実装に向けた実証調査事業 ・地域経済分析システム(RESAS)・地方創生データ分析評価プラット フォーム(RAIDA)の普及・活用促進 ・「i-都市再生」の普及・促進 ほか
総務省	385		385	3,876	・次世代航空機搭載合成開口レーダーによる観測技術の確立に向けた 実証観測 ・緊急消防援助隊動態情報システムの運用 ・ヘリコプター動態管理システムの整備・運用 ・衛星システム非依存の高精度時刻同期インフラの確立 ほか
法務省	5,261	35	5,226	5,278	・筆界特定の推進 ・法務局地図作成事業 ・衛星測位を活用したGPS測量推進事業
外務省	479	479	0	424	・宇宙・IoT技術を活用した沿岸災害対応に係る能力構築支援
財務省	3		3	3	・国有財産情報公開システムの運用
文部科学省	10,224	529	9,695	20,928	・地球観測衛星の継続的開発、利用実証等 (官民連携光学ミッション等) ・国際的な宇宙開発利用の進展と人材育成のためのプログラム ほか
厚生労働省	461	86	375	639	・災害時保健医療福祉活動支援システム(D24H)の運用、 ・広域災害・救急医療情報システム(EMIS)サービス提供・運用等
農林水産省	30,908	25,508	5,400	31,117 ※別途事項要求中の 施策あり	・スマート農業技術の開発・供給促進事業 ・スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート事業 ・農林水産省地理情報共通管理システムの利用の推進 ・森林資源情報のデジタル化 ・人工衛星・漁船活用型漁場形成情報等収集分析事業 ほか
経済産業省	2,118	関連予算の 内数 (※)	2,118	関連予算の 内数 (※)	・洋上風況マップ(NeoWins)の整備・運用 ・ウラノス・エコシステムの実現のためのデータ連携システム構築・ 実証事業(デジタルライブラインの整備) ほか
国土交通省	42,388	13,854	28,534	45,041 ※別途事項要求中の 施策あり	・i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進 ・電子国土基本図の整備・更新・3次元化等 ・3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化、海外展開 ・特殊車両通行制度の利便性向上 ・建築・都市のDXのキーとなる「不動産ID」の整備推進 ・水害リスクマップ ほか
環境省	5,605	150	5,455	6,503	・GOSATを活用した気候変動対策の推進 ほか
防衛省	4,536	関連予算の 内数 (※)	4,536	4,051	・災害対処等に資する地理空間情報に係るデータの整備 ・自衛隊の災害派遣活動における災害用ドローンの活用
総計	139,603	59,541 (※を含まない)	80,062	207,494 (※を含まない)	
対R8当初比				2.59	
対R8当初+R7補正比				1.49	

G空間関連 令和9年度予算概算要求の概要(主要施策)



地理空間情報を高度に活用する「G空間社会」の実現に向け、地理空間情報活用推進基本計画に基づく施策の着実な推進や、関係府省の連携による取組の推進を内容とする予算(207,494百万円:対R8当初比 2.59倍、対R8当初+R7補正比 1.49倍)を要求中。

1. 自然災害・環境問題への対応

○小型SAR衛星コンステレーション

- ・小型SAR衛星コンステレーションの利用拡大に向けた政府調達支援
【内閣府: 1,000百万円】

○統合型G空間防災・減災システムの構築の推進

- ・新総合防災情報システムの整備と運用
【内閣官房: 1,162百万円(対R8当初比1.13倍)】

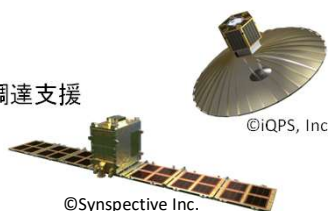
○地球観測衛星による気候変動等の

地球規模課題解決への貢献

- ・気候変動等に係る地球観測衛星の運用
【文部科学省: 4,206百万円(対R8当初比0.91倍)】
- ・GOSATを活用した気候変動対策の推進
【環境省: 4,554百万円(対R8当初比1.13倍)】

○宇宙技術を活用した災害対応力強化

- ・宇宙・IoT技術を活用した沿岸災害対応に係る能力構築支援事業
【外務省: 424百万円】



2. 産業・経済の活性化

○スマート農業の加速化などデジタル技術の利活用の推進

- ・スマート農業技術の開発・供給促進事業等
【農林水産省: 27,043百万円(対R8当初比10.50倍)】
- ・eMAFF地図の利用の推進
【農林水産省: 17,191百万円の内数】

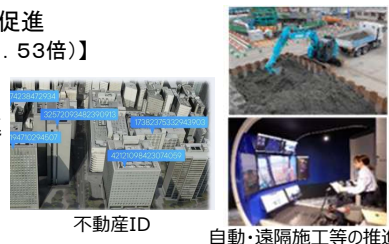


○i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進

- ・i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進
【国土交通省: 13,574百万円+事項要求(対R8当初比1.53倍)】

○不動産ID

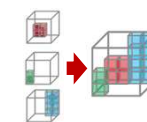
- ・建築・都市のDXのキーとなる「不動産ID」の整備推進
【国土交通省: 500百万円】
- ・不動産IDシステムの構築
【国土交通省: 362百万円】



3. 豊かな暮らしの実現

○3D都市モデル「Project PLATEAU」

- ・3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化
【国土交通省: 4,500百万円(対R8当初比1.95倍)】



3D都市モデル

空間ID

○「空間ID」を含む4次元時空間情報基盤の整備

- ・ウラノス・エコシステムの実現のためのデータ連携システム構築・実証事業(デジタルライフラインの整備)
【経済産業省: 2,800百万円の内数】

4. 地理空間情報基盤の継続的な整備・充実等

○準天頂衛星システムの開発・整備及び測位能力向上の推進

- ・実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進
【内閣府: 86,978百万円(対R8当初比5.14倍)】

○高精度測位時代に不可欠な位置情報の共通基盤「国家座標」の推進

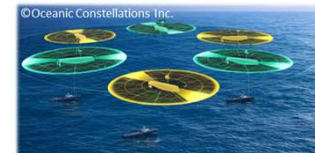
- ・電子国土基本図の整備・更新・3次元化等
【国土交通省: 4,066百万円(対R8当初比2.53倍)】
- ・電子基準点の運用による位置情報サービスの発展への貢献等
【国土交通省: 3,393百万円(対R8当初比3.98倍)】



電子基準点・電子国土基本図の整備等

○海洋無人機(海洋ドローン)の開発・利用の推進や海洋状況把握(MDA)及び情報の利活用の推進

- ・海洋無人機(海洋ドローン)の社会実装に向けた実証調査事業
- ・多様な地理空間情報との連携の強化
【内閣府: 6,948百万円の内数】



海洋ドローンの開発・利用等

○地理空間情報の流通・利活用の促進(ジオAI等)

- ・AI対応データ整備、データ連携・流通基盤の構築等
【国土交通省: 331百万円(対R8当初比11.16倍)】

5. 地理空間情報の整備と活用を促進するための総合的な施策

○RESAS、RAIDA-AI(観光等)

- ・地域経済分析システム(RESAS)・地方創生データ分析評価プラットフォーム(RAIDA)等による地域未来戦略・地方版総合戦略等策定支援事業
【内閣府: 118百万円(対R8当初比1.10倍)】

○イチBizアワード

- ・地理空間情報等を活用したビジネスアイデアコンテストの開催
【内閣官房: 87百万円の内数】

